

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成21年9月3日(2009.9.3)

【公表番号】特表2009-502985(P2009-502985A)

【公表日】平成21年1月29日(2009.1.29)

【年通号数】公開・登録公報2009-004

【出願番号】特願2008-524341(P2008-524341)

【国際特許分類】

A 6 1 K 31/235 (2006.01)

A 6 1 P 31/12 (2006.01)

A 6 1 P 31/20 (2006.01)

A 6 1 P 31/22 (2006.01)

A 6 1 P 15/00 (2006.01)

A 6 1 P 15/02 (2006.01)

A 6 1 P 17/00 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

A 6 1 Q 19/10 (2006.01)

A 6 1 K 8/37 (2006.01)

A 0 1 N 37/40 (2006.01)

A 0 1 N 25/12 (2006.01)

A 0 1 N 25/02 (2006.01)

A 0 1 N 25/34 (2006.01)

A 0 1 P 1/00 (2006.01)

C 1 1 D 3/20 (2006.01)

C 1 1 D 3/48 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 31/235

A 6 1 P 31/12

A 6 1 P 31/20

A 6 1 P 31/22

A 6 1 P 15/00

A 6 1 P 15/02

A 6 1 P 17/00 1 0 1

A 6 1 P 35/00

A 6 1 Q 19/10

A 6 1 K 8/37

A 0 1 N 37/40

A 0 1 N 25/12

A 0 1 N 25/02

A 0 1 N 25/34 C

A 0 1 P 1/00

C 1 1 D 3/20

C 1 1 D 3/48

【手続補正書】

【提出日】平成21年7月13日(2009.7.13)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

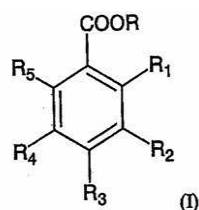
【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

以下の一般式（I）によって示され、



式中、Rは C_{1-11} アルキル基であり、 R_1 、 R_2 、 R_3 、 R_4 、 R_5 は、独立して、OHまたはHであり、少なくとも1つはOHであるが、サリチル酸塩は排除される、ヒドロキシ安息香酸エステルおよびその類似体からなるウイルス感染の予防および治療用の医薬品中間体。

【請求項 2】

前記ウイルス感染が、ヒトおよび動物におけるHBV、HPVまたはHSV感染であることを特徴とする請求項1記載のウイルス感染の予防および治療用の医薬品中間体。

【請求項 3】

前記ウイルス感染が、B型肝炎、尖圭コンジローマ、単純ヘルペス、膣炎、子宮頸管炎および子宮頸部びらんであることを特徴とする請求項1又は2記載のウイルス感染の予防および治療用の医薬品中間体。

【請求項 4】

前記ウイルス感染の予防および治療のための薬剤が子宮頸癌の治療に使用されるものであることを特徴とする請求項1又は2記載のウイルス感染の予防および治療用の医薬品中間体。

【請求項 5】

前記Rは C_{1-8} アルキル基であることを特徴とする請求項1乃至4のいずれかに記載のウイルス感染の予防および治療用の医薬品中間体。

【請求項 6】

前記Rは C_{1-3} アルキル基であることを特徴とする請求項1乃至5のいずれかに記載のウイルス感染の予防および治療用の医薬品中間体。

【請求項 7】

前記、 R_1 、 R_2 、 R_3 、 R_4 、 R_5 の少なくとも二つがOHであること特徴とする請求項1乃至6のいずれかに記載のウイルス感染の予防および治療用の医薬品中間体。

【請求項 8】

前記、 R_1 、 R_2 、 R_3 、 R_4 、 R_5 の少なくとも三つがOHであること特徴とする請求項1乃至7いずれかに記載のウイルス感染の予防および治療用の医薬品中間体。

【請求項 9】

前記ヒドロキシ安息香酸エステルおよびその類似体が、4-ヒドロキシ安息香酸エステル、2,4-ジヒドロキシ安息香酸エステル、3,4-ジヒドロキシ安息香酸エステル、2,3,4-トリヒドロキシ安息香酸エステル、3,4,5-トリヒドロキシ安息香酸エステルまたは3,4,6-トリヒドロキシ安息香酸エステルからなるグループから選択されるものであることを特徴とする請求項1乃至6のいずれかに記載のウイルス感染の予防および治療用の医薬品中間体。

【請求項 10】

前記ヒドロキシ安息香酸エステルおよびその類似体が、2,3,4-トリヒドロキシ安

息香酸エステル、3, 4, 5-トリヒドロキシ安息香酸エステルまたは3, 4, 6-トリヒドロキシ安息香酸エステルからなるグループから選択されるものであることを特徴とする請求項1乃至9のいずれかに記載のウイルス感染の予防および治療用の医薬品中間体。

【請求項11】

前記ヒドロキシ安息香酸エステルおよびその類似体が、3, 4, 5-トリヒドロキシ安息香酸エステルであることを特徴とする請求項1乃至10のいずれかに記載のウイルス感染の予防および治療用の医薬品中間体。

【請求項12】

前記化合物および／またはかかる化合物を有効成分として含む組成物は、注射または経口製剤のための種々のアジュバントとともに、粉末、溶液、錠剤、カプセル剤、顆粒剤、液体に調整され、あるいは、皮膚粘膜製剤のための種々のアジュバントとともに、軟膏、ゲル、洗液、錠剤、坐剤、ペッサリー、スプレーまたは他の薬学的に許容され得る調製物に調製されているものであることを特徴とする請求項1乃至11のいずれかに記載のウイルス感染の予防および治療用の医薬品中間体からなる調製物。

【請求項13】

前記化合物および／またはかかる化合物を有効成分として含む組成物が、パーソナルケア製品として使用されるものであり、かかるパーソナルケア製品がハンドソープ、手の滅菌用ローション、ボディクレンザー、ボディクレンジングゲル、ボディウォッシングソープ、パーソナルケアティッシュ、ティッシュペーパー、点鼻薬またはこれらの組み合わせであることを特徴とする請求項1乃至10のいずれかに記載のウイルス感染の予防および治療用の医薬品中間体からなるパーソナルケア製品。